

誤らんか余輩
に願はくば我京

東上中なりし諸名士は、今や踵を接して歸來る借間、諸氏は滯東中韓韓國や統監政治や此在留民を如何に紹介したるや、ソレは扱置さ諸氏滯東の日數永かりしより推論たらしめざるに勉められんことを

東京新下り

監督司會の下に執行せられたりす

三南地方は土地肥沃にして物産に富み古來
韓國の豐庫と稱せらるゝの地にして經濟上
重要な地域なり今此地方に於ける日本人

なりし

山江の支流に依りて井堰工事を經營し附近
に八百餘町歩の耕地を有せり井堰は長さ八
十間にして之れが經營には數年の日子を費
し資を投ずる事一萬五千圓今や韓人も大に

り今番農商工部に協議して必要を超越せざる範圍に於て被害民

て此の地を以て墳墓の地となさん事を期す
壯心實に嘆賞すべきものあり使用人は日本
人十五・八韓人二人を常用となせり

二、木浦棉繰工場

の趣旨を貫徹せしめ森林濫伐の注意すべし

山者

然し、女成婚を得るに至り、且下は韓人女を
 數一日平均二十五人にして、日給上等三十五
 錢下等十一錢乃至二十錢とし、男工は三十五
 人にして、受負事業となせり而して韓人の
 月中等労働金は、運動會に於て、日給中等と

△不安南道孟山守備隊は二月二十
（寧遠東南三里）にて賊と衝突し

三、群山の農事組合
群山には夙に農事組合の設けあり從來土
買收の場合に當り之れが登録事務を取扱
來りたるものにして其の登録反別は二萬

△江原道春川守備隊（隊長以下歩

るべき内地郵便物は午前八時半便にて配達

したるに感嘆良好なりしと云ふ

入し米穀を子に授けし村人を慰撫、去れり
 と亦南方約二里を隔る槐谷には舊曆二月二
 十八日午後六時頃賊魁吳養先の部下約八九
 十人、支那人送迎會は愈々來る十一日附夫、和

覽に供し次で德壽宮にては太皇帝（たうがうてい）

必要益々或ず大に經世家の注意すべし
 ▲淫風 盛にして色情狂類々現はる嬌
 に觀覽せしむる由而して此の寫眞は

南北二ヶ所に設置せられ五日目
交互に開市し居れり市場の状況

約二時三十分、我兵苦戰、奮勇突入、其を殲し、一旦山内を盛
 へて遂に賊中に突入し、其を殲し、一旦山内を盛
 地に引揚げたり

財務監督局課長釜本三郎氏の談

慶尙北道星州守備隊長以下七名は、四月三日午前六時頃巨勾里附近にて賊魁朴鳳來の率ゐる約三十の賊を急追し、首魁朴鳳來を都將たす。地以下十二名を斃せり、傷不少銃五顆品若

集の爲め清安附近に出張し來る
四月三日各面長を集合せしめ

好地寮に居りしも前非を悔悟し七日警視廳に出願謝罪を申出たるに附免罪文憑下附されたり

●水雷艇隊の入港 海軍

を引率して歸順したりと云ふ

●忠清北道清安地方狀況

今回新設せられたる清安憲兵分遣所長の談

に依れば、近來匪賊の狀況に就ては着後

於て負擔する事に決定したるは
なるが其後税關工部仁川出張

間に於て危険界と稱せられ居る清安を一里土
乃至二里を隔る山間に時々五六十の暴徒徘徊し居るの模様あり就中南西北地方を以て
最も出沒するものゝ如く此地方に住する人

名優 鮮町の境なる在來の天下水

入し米穀を子に授けし村人を慰撫、去れり
 と亦南方約二里を隔る槐谷には舊曆二月二
 十八日午後六時頃賊魁吳養先の部下約八九
 十人、支那人送迎會は愈々來る十一日附夫、和

御覽に供し次で修養宮にても

必要益々或ず大に經世家の注意すべし
 ▲淫風 盛にして色情狂類々現はる嬌
 に觀覽せしむる由而して此の寫眞は

蘇しは

近事片々

會統監歸任を當込み一芝居を仕
備將に整はむと座頭は李か宋か趙

20

當らなければ役者どもも同盟罷業
定連の統監に當て付ると鼻息荒ら
に肝煎てるのみでなく座敷へ度

明也

退れば四方に散じて叛旗を揚る仕組
 宋丈では茲^{こゝ}睨^{にら}みが利くまいが
 つ凄^{すげ}い處^{ところ}を見^みせて貰^{もら}ひたい野田
 たりや此^{この}狂言^{げん}甘^{かん}く行^いけば御慰^{ごゐ}る

てた

大原因日清戰後にも大恐慌が來
京仁間の實業家が餘り樂觀過
手加減が拙なることは戒むべ
關係の進むと共に本邦經濟界の

感 熱

紛々の間に何時も本物現はるる節も可笑しいが今時分が能くある歸任の上は太皇帝を日本に誘ふの說が盛にヨボ共に喧傳され騒ぎ

云云

風盛にして色情狂類々現はる矯
益々或ず大に經世家の注意すべし
感せしむる由而して此の寫眞は

10

